

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年11月2日

上場取引所 大

上場会社名 ディービーエックス株式会社

コード番号 3079 URL <http://www.dvx.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 若林 誠

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 財務経理部長

(氏名) 魚住 洋二

TEL 03-5985-6827

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	11,187	13.1	560	33.5	569	36.7	367	57.7
24年3月期第2四半期	9,887	13.2	419	35.4	416	33.1	233	104.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	65.22	—
24年3月期第2四半期	41.37	—

(注)当社は平成23年10月1日付並びに平成24年10月1日付で、それぞれ普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	9,742	3,204	32.9
24年3月期	8,924	2,941	33.0

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 3,204百万円 24年3月期 2,941百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	23.00	23.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は平成24年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。平成24年3月期の期末配当金につきましては、当該株式分割前の実績を記載しております。

3. 平成25年 3月期の業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,024	7.5	1,061	18.8	1,065	22.0	629	32.1	111.55

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」第5条の4に該当するものです。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	5,640,000 株	24年3月期	5,640,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	1,238 株	24年3月期	1,238 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	5,638,762 株	24年3月期2Q	5,638,971 株

(注)当社は平成23年10月1日付並びに平成24年10月1日付で、それぞれ普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました[※]、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興需要やエコカー補助金等の政策効果に支えられて回復を続けてきましたが、海外経済の減速を受けて足踏み状態となっております。

医療機器業界におきましては、平成24年4月に診療報酬の改定が行われ、全体としては引き上げられたものの、当社が取り扱う特定保険医療材料の償還価格については、引き下げられることとなりました。また、経営改善に努める医療機関等の取引先からの値下げ要求もあり、引き続き厳しい経営環境の下で推移いたしました。

このような情勢のもと、当社では、経営の効率化や販売体制の強化に取り組み、業容の拡大を目指してまいりました。その一環として、平成24年4月に組織変更を行い、不整脈事業の販売エリア拡大に向けて、販売代理店業務(不整脈事業)と輸入総代理店業務(虚血事業)の融合を図りました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は11,187,264千円(前年同期比13.1%増)、営業利益は560,493千円(前年同期比33.5%増)、経常利益は569,214千円(前年同期比36.7%増)、四半期純利益は367,747千円(前年同期比57.7%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 不整脈事業

償還価格引き下げの影響で、販売単価は下落傾向にあったものの、既存顧客に対するサービスの充実に努めるとともに、西日本及び東北エリア等において新規顧客の開拓に注力いたしました。その結果、電極カテーテルや両室ペーシング機能付き植込み型除細動器(CRT-D)等の主力商品の販売数量が増加し、当第2四半期累計期間の売上高は9,300,272千円(前年同期比14.2%増)、セグメント利益は1,273,932千円(前年同期比13.2%増)となりました。

② 虚血事業

自動造影剤注入装置「ACIST」及びエキシマレーザ血管形成システムの関連商品の販売が好調に推移したこと等により、当第2四半期累計期間の売上高は1,635,085千円(前年同期比6.0%増)、セグメント利益は643,126千円(前年同期比8.2%増)となりました。

なお、従来先進医療の適用となっていたエキシマレーザ血管形成システムを利用した冠動脈形成術が、平成24年4月に保険適用されたのに続き、平成24年7月には、当該術式に使用するコロナリーカテーテルが保険適用となりました。それに伴い、今後の販売拡大に向けたマーケティング活動に注力するとともに、販売体制の強化を図りました。

③ その他

当第2四半期累計期間の売上高は251,907千円(前年同期比25.7%増)、セグメント利益は32,914千円(前年同期比21.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べ818,960千円増加し、9,106,014千円となりました。これは主に、現金及び預金が417,594千円増加したことや、売上高の増加に伴って受取手形及び売掛金が333,752千円増加したことによるものであります。固定資産は、前事業年度に比べ584千円減少し、636,935千円となりました。これは主に、有形固定資産が13,458千円増加する一方、投資有価証券が8,648千円、無形固定資産が8,640千円減少したことによるものであります。

これらの結果、当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比べ818,376千円増加し、9,742,949千円となりました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べ612,580千円増加し、6,221,960千円となりました。これは主に、仕入高の増加に伴って買掛金が456,892千円増加したことや、売上値引引当金が188,949千円増加したことによるものであります。固定負債は、前事業年度に比べ57,037千円減少し、316,643千円となりました。これは主に、長期借入金が63,376千円減少したことによるものであります。

これらの結果、当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比べ555,543千円増加し、6,538,604千円となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ262,833千円増加し、3,204,344千円となりました。これは主に、四半期純利益により367,747千円増加する一方、剰余金の配当により98,678千円減少したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は32.9%(前事業年度末は33.0%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動による資金の獲得631,333千円、投資活動による資金の支出22,948千円、財務活動による資金の支出190,366千円等により、前事業年度末と比較して417,594千円増加して2,649,561千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税引前四半期純利益569,235千円に加え、仕入債務の増加456,892千円、売上値引引当金の増加188,949千円、賞与引当金の増加44,281千円等の収入要因があったものの、売上債権の増加333,752千円、法人税等の支払額260,127千円等の支出要因があったことから、631,333千円の資金の獲得(前年同期は494,114千円の獲得)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得により48,617千円、無形固定資産の取得により2,365千円それぞれ支出する一方、有形固定資産の売却により32,081千円の収入があったこと等から、22,948千円の資金の支出(前年同期は124,034千円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払98,356千円及び長期借入金の返済91,252千円等があったことから、190,366千円の資金の支出(前年同期は115,134千円の支出)となりました。

(3)業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期の業績予想につきましては、平成24年9月24日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」に記載した業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、当該変更による当第2四半期累計期間の影響額は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,231,966	2,649,561
受取手形及び売掛金	5,319,887	5,653,639
商品	531,015	538,094
繰延税金資産	99,705	187,702
その他	111,395	83,581
貸倒引当金	△6,917	△6,564
流動資産合計	8,287,053	9,106,014
固定資産		
有形固定資産	215,643	229,102
無形固定資産	58,801	50,160
投資その他の資産		
投資有価証券	167,405	158,757
差入保証金	94,103	97,953
繰延税金資産	90,238	89,625
その他	37,991	13,498
貸倒引当金	△26,664	△2,162
投資その他の資産合計	363,074	357,671
固定資産合計	637,519	636,935
資産合計	8,924,572	9,742,949
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,746,092	5,202,985
1年内返済予定の長期借入金	171,168	143,292
未払法人税等	287,000	313,000
賞与引当金	130,305	174,586
売上値引引当金	—	188,949
その他	274,815	199,147
流動負債合計	5,609,380	6,221,960
固定負債		
長期借入金	189,457	126,081
退職給付引当金	109,768	116,314
役員退職慰労引当金	62,206	62,293
その他	12,249	11,954
固定負債合計	373,681	316,643
負債合計	5,983,061	6,538,604
純資産の部		
株主資本		
資本金	344,457	344,457
資本剰余金	314,730	314,730
利益剰余金	2,279,206	2,548,275
自己株式	△547	△547
株主資本合計	2,937,847	3,206,916
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,663	△2,572
評価・換算差額等合計	3,663	△2,572
純資産合計	2,941,510	3,204,344
負債純資産合計	8,924,572	9,742,949

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位: 千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	9,887,463	11,187,264
売上原価	8,141,180	9,237,292
売上総利益	1,746,282	1,949,972
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	520,104	503,000
賞与引当金繰入額	116,278	174,586
役員退職慰労引当金繰入額	3,187	3,687
退職給付費用	10,844	11,504
その他	676,046	696,700
販売費及び一般管理費合計	1,326,461	1,389,479
営業利益	419,821	560,493
営業外収益		
受取利息	48	76
為替差益	2,142	8,213
その他	328	1,725
営業外収益合計	2,519	10,016
営業外費用		
支払利息	2,196	1,295
デリバティブ評価損	3,679	—
営業外費用合計	5,875	1,295
経常利益	416,465	569,214
特別利益		
固定資産売却益	2,221	21
特別利益合計	2,221	21
特別損失		
固定資産除却損	478	0
その他	104	—
特別損失合計	582	0
税引前四半期純利益	418,104	569,235
法人税、住民税及び事業税	222,297	285,418
法人税等調整額	△37,460	△83,930
法人税等合計	184,837	201,488
四半期純利益	233,266	367,747

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	418,104	569,235
減価償却費	35,732	34,241
のれん償却額	4,192	4,192
デリバティブ評価損益(△は益)	3,679	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,839	△24,855
賞与引当金の増減額(△は減少)	25,669	44,281
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,883	6,546
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,687	87
売上値引引当金の増減額(△は減少)	62,589	188,949
受取利息及び受取配当金	△91	△133
支払利息	2,196	1,295
為替差損益(△は益)	1,608	424
有形固定資産売却損益(△は益)	△2,152	△21
有形固定資産除却損	478	0
売上債権の増減額(△は増加)	△253,197	△333,752
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,070	△27,941
仕入債務の増減額(△は減少)	281,532	456,892
未払消費税等の増減額(△は減少)	3,891	423
その他	24,053	△27,146
小計	619,090	892,719
利息及び配当金の受取額	91	133
利息の支払額	△1,576	△1,391
法人税等の支払額	△123,490	△260,127
営業活動によるキャッシュ・フロー	494,114	631,333
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△46,530	△48,617
有形固定資産の売却による収入	865	32,081
有形固定資産の除却による支出	△1,628	—
無形固定資産の取得による支出	△20,534	△2,365
投資有価証券の取得による支出	△40,475	—
差入保証金の差入による支出	△123	△6,858
差入保証金の回収による収入	4,573	3,008
事業譲受による支出	△20,000	—
その他	△181	△196
投資活動によるキャッシュ・フロー	△124,034	△22,948
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100,000	—
短期借入金の返済による支出	△100,000	—
長期借入れによる収入	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△103,296	△91,252
自己株式の取得による支出	△28	—
配当金の支払額	△60,522	△98,356
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,287	△758
財務活動によるキャッシュ・フロー	△115,134	△190,366
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,608	△424
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	253,336	417,594
現金及び現金同等物の期首残高	2,083,963	2,231,966
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,337,300	2,649,561

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

(株式分割)

当社は、平成24年8月14日開催の取締役会決議に基づき、平成24年10月1日を効力発生日として、平成24年9月30日最終の株主名簿に記載または記録された当社普通株式1株につき、2株の割合をもって株式分割いたしました。これにより増加した株式数は、普通株式2,820,000株であります。